

授業コード	JP42120010	開講年度・学期	2021年度前期
科目授業名	金融・保険法		
英語科目授業名	Financial and Insurance Law		
科目ナンバー	JAAPP9917	必修・選択	選択必修
単位数	2単位	授業形態	講義
担当教員氏名 (代表含む)	石田 眞得		
科目の主題	近年ますます重要性を増している金融商品取引法の概要を理解することを主な目的とする。金融商品取引法は、複数の政令や内閣府令に規制の詳細を委ねている部分が少ないが、本授業ではあまり細部にこだわらず、同法の規制の概要、背景、論点などの基本を解説し検討することとする。		
授業の到達目標	受講者は、本授業の受講を通じて、資本市場の基本法である金融商品取引法の規制の観点に加え、同法の主な規制内容である、情報開示規制、業者規制、不公正行為規制の内容および規制手法について理解を深めることができる。また金融商品取引法の重要判例の状況を把握することができる。		
授業内容・授業計画 ①	第1回 企業金融の概要：企業と資金調達（証券の発行市場と流通市場の仕組み） 第2回 投資家保護と金融商品取引法の規制の概要、情報開示の意義・機能、エンフォースメントの方法 第3回 発行開示制度（1）：有価証券の募集・売出し、有価証券の定義（集団投資スキーム持分等） 第4回 発行開示制度（2）：募集・売出しの届出制度、簡易な発行開示制度（統合開示制度・WKSI） 第5回 継続開示制度（有価証券報告書・四半期報告・臨時報告等） 第6回 開示制度の正確性を確保する制度（監査・民事責任の総論） 第7回 開示制度の正確性を確保する制度（民事責任） 第8回 公開買付けの規制（1）企業買収とTOB 第9回 公開買付けの規制（2）TOB規制の内容 第10回 大量保有報告制度 5%ルールと変更報告書の規制 第11回 業者規制（開業規制・行為規制） 第12回 不公正行為規制（1）課題報告 第13回 不公正行為規制（2）課題報告 第14回 不公正行為規制（3）課題報告 第15回 期末試験		
事前・事後学習 の内容	事前学習 ・ 次回の学習内容について教科書を読んでおく。 ・ 課題報告の担当者はレジュメを作成し受講者全員に配付する。 ・ 課題報告については、報告担当者以外の者も、資料を入手し、予習する。 事後学習 ・ 学習内容の復習、疑問点の調査・確認 ・ 講義メモ（ノート）の整理		
評価方法	絶対評価 授業内での応答、議論への参加状況、課題報告などで構成される平常点で35%、定期試験で65%の割合で評価する。		
受講生へのコメント	授業内容は状況に合わせて若干の変更等を行うことがある。 授業内容に関係する最近の新聞記事を用いて解説を行うこともある。 受講者は裁判例の課題報告を1回以上担当します。授業開始後の受講者数をみた上で報告担当者を決めます。		
教材	教科書：近藤光男ほか『基礎から学べる金融商品取引法（第4版）』弘文堂、2018年 参考書：金融商品取引法判例百選（別冊ジュリスト214号）有斐閣、2013年		